

今月の模範作品

規定課題

筆ペン

竹馬をつくって遊ぼう

孟宗竹を使って、昔ながらの竹馬を手づくりします。乗り方のコツも教わります。

日時 5月10日(日) 10:00~14:30

場所 筍の里広場

対象 小学生以上
(10歳未満は保護者同伴)

費用 500円(竹林保全費用)

持ち物 軍手、長そで、長ズボン着用
昼食は各自用意

主催 竹林再生プロジェクト

申込み 南関町SDGs推進課
(電話 52-1112)

佐世 松田しのぶ

佐世 松田しのぶ 字粒の大きさを揃え気味にして、行間、字間の取り方も大変垢抜けしている。項目毎の内容がとても読み易い揭示文である。 評 森 嶺雲

山崎 総麴 俊子 高野切第三種の端正で清らかな線質を再現し、線の太細に留意した立体感のある見事な逸品。特に三つの「や」と「へ」が素晴らしい。評 福原 溪春

山崎 総麴 俊子

随意課題

ボールペン

戦後書壇の一つの傾向として、書法の否定と伝統の破壊が目立つ。特に新しい書芸術を標榜する人々は、従来の書法を無視し、伝統を捨て、自己の創意と新奇を出すことに走って、書の倫理性や文字性までも離脱しようとしているようである。

近衛 高岡 啓子 リズムに乗った生彩に富む線が美しい。形状美・線条美・布置章法美を兼ねそなえた作。 評 江口 春陽

つけペン

新書 宮城 康湖 切れ味よいシャープな線で紙面を存分に使い流麗な連筆と余白の響き合いが作品の妙美を際立たせる模範作。 評 荒谷由美子

6月提出競書作品の写真版作品は、6月25日よりホームページに掲載されます。

今月の優秀作品

今月の秀逸作品

規定課題・随意課題

() 内は選評執筆です。

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
 になった。彼女が寺へ出て行
 くので、適當な距離をたもち
 つつあそびをつけて行くこと。

上沢 高田美佳子 骨力ある線質ながら、
 伸びやかさ溢れる温潤な表現が見応えある
 秀逸作。
 (荒谷由美子)

花ひとつ枝にとどめ
 ぬ玉蘭の夏むかし
 なり我も移らむ

幸丘 來栖 智子 手本をよく観察し、
 表現豊かな美しい線で書かれた秀逸作。
 連綿も素晴らしい。
 (佐藤 香蓮)

擧杯邀明月
 對影成三人
 擧杯邀明月
 對影成三人

香桜 伊藤 綾子 字形よくまとめ、
 軽快な運筆が心
 地よい。基本を忠実に学んでいる証。
 (江口 春陽)

小さな者同士が些細な事を
 巡って愚かな争いをする。

K S 楠 雪香

K S 楠 雪香 柔軟な線質で字形を整え、横への
 流れも自然で美しい。バランスの取れた見事な作。
 (森 嶺雲)

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
 消失したが、京都の人々の手で創建
 当初の姿で再建・保存されてきた。

書学 桑原 実香 書線の美しさに加え、漢
 字と仮名の調和が見事な作品に仕上がった。
 (奈良 孝嬉)

芍薬の芽の
 ほろほろと
 なる

八雲 宮野 順 文字、空間のバランス
 も良く、連綿も美しい。見応えのある素晴
 らしい作品。
 (御園生藍珠)

六花 三村 莉杏 堂々とした書きっぷり
 が見事。確かな運筆が胸のすくような線を
 生んでいる。
 (黒河内月倫)

孟夏風薫る 燕子花
 ラベンダーはつがとお
 六花 三村 莉杏

里山でバードウォッチング
 シンジュカラや雀など身近な鳥の鳴き声や
 巣立ちの様子を観察します

日時 五月九日(土)午前10時〜14時
 場所 かわせみ自然センター
 講師 羽黒孝氏(日本野鳥の会千葉支部)
 参加費 無料
 持ち物 双眼鏡、野鳥図鑑
 申込み 市川市自然保護課(三六六〇三五)

温品 渡部 順子 上下左右の余白のとり
 方が良く、魅力ある文字が更に明るさを増
 している。
 (奈良 孝嬉)

久我 二宮佐和子 周囲・行
 間の余白バランスが素晴らしく、
 美しい字形と流麗な書き
 ぶりは気品を高めている秀逸
 作。
 (佐藤 香蓮)

先日はお祝いカードを有難うござい
 ました。この度は、お返しは気が強
 い、という連絡が
 あり子供はよく聞かされたのでした
 思い、出ばせに友人と笑っておりました
 近頃は、少子化の影響で、どうか誰
 も、喜んでね、では、連絡します

港区南青山六十一
 根津十和子様

調布市若葉町六九五
 渡果歩

11070062
 1820003

調布市若葉町六九五
 渡果歩

今月の優秀作品

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

書字 金田 中 梅

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

和音 下 澤 亮 呼

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

書字 八田 直 倫 子

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

川口 七 明 勉 揚 直 子

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

Y S 金田 物 瀬 佐 代 子

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

田村 義 山 馬 理 真 子

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

清 松 八 宮 城 由 美

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

清 天 六 昭 竹 内 紗 希

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

横 池 義 佐 藤 洋 子

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

上 宮 啓 難 波 祐 見 子

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

渡 小 七 大 木 美 珠

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

R T 六 昭 松 尾 明 田 希

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

公 津 義 祐 田 道 子

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

二 戸 昭 戸 田 寛 子

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

清 香 七 松 浦 直 子

妹のなつをいふやまられんせよとわ
あけうけまれのいろにじりよなむ
みずのやまれうれたまい(そらうしよ
けうんせよのつれよなむ

如 月 六 昭 阿 部 明 美

今月の優秀作品

専攻コース

紅 延
北尾 虎汰朗 再

花ひとつ枝にとどあ
ね玉蘭の夏むかふ
なり我も移らむ

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

SAI 二 佐藤 要 希 子

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

柴 又 四 大 平 美 紀

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

上 板 五 村 井 真 由 美

征水
と 助野 仁 香

花ひとつ枝にとどあ
ね玉蘭の夏むかふ
なり我も移らむ

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

大 井 二 大 河 原 廣 人

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

書 字 三 宮 下 杏 奈

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

白 銀 五 高 野 幸 恵

ゆめ
中野 順子 7

舉杯邀明月
對影成三人
舉杯邀明月
對影成三人

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

千 南 初 江 教 彩 音

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

香 澄 三 小 口 美 果

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

大 開 五 小 原 由 夏

人 二
新井 田 紗 希

舉杯邀明月
對影成三人
舉杯邀明月
對影成三人

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

春 日 初 木 村 杏 里

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

水 美 悠 希 川 裕 美 子

藤太郎は、ひと目で彼女が好き
になつた。彼女が寺から出て行
くので、適当な距離をたもち
つゝあををつけて行くと、

書 字 四 島 居 一 真

今月の優秀作品

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
大庭 教監 五 段 氏名(姓) 内山 惠美子

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
三雲 教監 四 段 氏名 森 川 涼子

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
子安 教監 三 段 氏名(姓) 藤 田 萌花

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
真紅 教監 二 段 氏名(姓) 伏 島 三 栄子

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
高崎 教監 初 段 氏名(姓) 藤 原 美 重子

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
春日 教監 五 段 氏名(姓) 萩 原 七 重

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
海里 教監 四 段 氏名(姓) 上 代 愛

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
大楠 教監 三 段 氏名(姓) 浅 香 直 美

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
沖繩 教監 二 段 氏名(姓) 森 小 川 子

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
五月 教監 初 段 氏名(姓) 今 井 千 昌

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
久我 教監 五 段 氏名(姓) 二 宮 祥 葉

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
竹花 教監 四 段 氏名(姓) 松 井 昌 代

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
水笠 教監 二 段 氏名(姓) 河 合 美 由 紀

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
石鴉 教監 初 段 氏名(姓) 山 崎 尚 子

仁和寺、東寺など多くの寺社が火災で
消失したが、京都の人々の手で創建
当初の姿で再建・保存されてきた。
唐扇 教監 初 段 氏名(姓) 妻 鹿 涼 子

今月の優秀作品

基礎コース

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
書学 氏名 上川純子 3

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
小出 氏名 森山佳代子 3

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
香港 氏名 宮澤恵美 3

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
泉の 氏名 宮嶋光行 4

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
RT 氏名 宮城穂波 4

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
詠雪 氏名 成川裕子 4

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
佐倉 氏名 加藤美江子 5

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
櫻庭 氏名 相原永子 5

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
天領 氏名 財津千春 5

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
書学 氏名 佐藤千佳子 1

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
そり 氏名 三井田歩美 1

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
清光 氏名 吉田剛 1

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
五色 氏名 宮城島道子 1

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
草香 氏名 鏡早苗 1

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
豊中 氏名 浅井裕子 2

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
公津 氏名 上林佳織 2

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
春蘭 氏名 竹室美希 2

小さな者同士が些細な事を
巡って愚かな争いをする。
大阪 氏名 西川茂 2

今月の優秀作品

詠雪	教室	段名 氏名 (姓前)	松下麻綾	6歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

宮塚	教室	段名 氏名 (姓前)	吉田幹子	6歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

書学	教室	段名 氏名 (姓前)	栗平恵美	7歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

佳心	教室	段名 氏名 (姓前)	林里美	8歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

新横	教室	段名 氏名 (姓前)	平塚光江	8歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

樵心	教室	段名 氏名 (姓前)	秋月杏菜	9歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

里香	教室	段名 氏名 (姓前)	遠藤智子	6歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

光秀	教室	段名 氏名 (姓前)	鈴木喜久枝	6歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

高崎	教室	段名 氏名 (姓前)	中村まり子	7歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

山田	教室	段名 氏名 (姓前)	押切由里	8歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

香月	教室	段名 氏名 (姓前)	井原春香	9歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

大庄	教室	段名 氏名 (姓前)	一ノ瀬恵美	10歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

羊	教室	段名 氏名 (姓前)	石川奈月	6歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

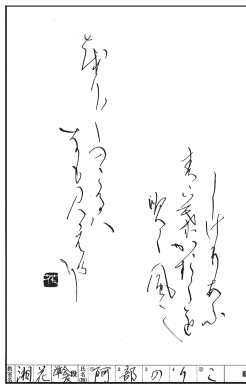
香港	教室	段名 氏名 (姓前)	安河内彩華	7歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

万葉	教室	段名 氏名 (姓前)	立石知子	7歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

草香	教室	段名 氏名 (姓前)	松本瞳	8歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

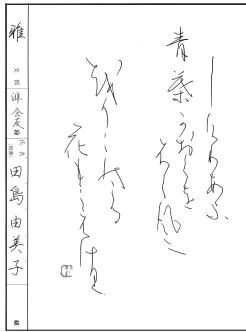
ゆぎ東	教室	段名 氏名 (姓前)	坂本邦子	9歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				

崇徳	教室	段名 氏名 (姓前)	西本尚美	10歳
孟夏 風薫る 燕子花 ラベンダー はつがとお				



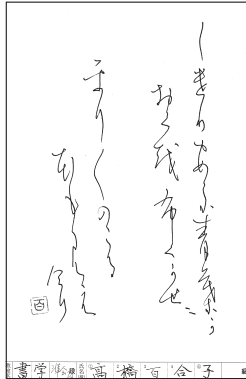
新保 昭子

延命十句観音經
 觀世音南無佛与佛有因与佛
 有縁佛法僧縁常樂我淨朝念
 觀世音暮念觀世音念念從心
 起念念不離心
 為 心願成就
 新保昭子敬寫



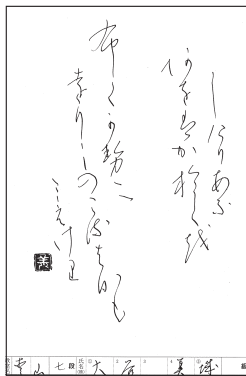
柳瀬佐代子

延命十句観音經
 觀世音南無佛与佛有因与佛
 有縁佛法僧縁常樂我淨朝念
 觀世音暮念觀世音念念從心
 起念念不離心
 奉為 二百萬卷寫経發願成就
 為 世界平和
 柳瀬佐代子敬寫



小山田美恵

延命十句観音經
 觀世音南無佛与佛有因与佛
 有縁佛法僧縁常樂我淨朝念
 觀世音暮念觀世音念念從心
 起念念不離心
 為 世界平和
 小山田美恵敬寫



田辺百合子

延命十句観音經
 觀世音南無佛与佛有因与佛
 有縁佛法僧縁常樂我淨朝念
 觀世音暮念觀世音念念從心
 起念念不離心
 萬卷寫経發願成就
 義父の長寿
 田辺百合子敬寫

摩訶般若波羅蜜多心經
 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
 蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
 異色色即是空空即是色受想行識亦復如
 是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
 不增不減是故空中无色无受想行識无眼
 耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至
 无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无
 所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
 罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢
 想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故

高橋 英秀

摩訶般若波羅蜜多心經
 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
 蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
 異色色即是空空即是色受想行識亦復如
 是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
 不增不減是故空中无色无受想行識无眼
 耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至
 无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无
 所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
 罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢
 想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故

大槻 智子

摩訶般若波羅蜜多心經
 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
 蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
 異色色即是空空即是色受想行識亦復如
 是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
 不增不減是故空中无色无受想行識无眼
 耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至
 無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無
 所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無
 罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢
 想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故

松田しのぶ

摩訶般若波羅蜜多心經
 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
 蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
 異色色即是空空即是色受想行識亦復如
 是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
 不增不減是故空中无色无受想行識无眼
 耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至
 无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无
 所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
 罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢
 想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故

池田 説子

今月の優秀作品

竹馬をつかって遊ぼう

孟宗竹を使って、昔ながらの竹馬を手づくり
します。乗り方のコツも教わります。

日時 5月10日(日)
10:00~14:30

場所 筍の里広場

対象 小学生以上
(10歳未満は保護者同伴)

費用 500円(竹林保全費用)

持ち物 軍手、長そで・長ズボン着用
昼食は各自用意

主催 竹林再生プロジェクト

申込み 南関町SDGs推進課
(電話 52-1112)

【番 52-1112】藤原 由恵

藤原 由恵

竹馬をつかって遊ぼう

孟宗竹を使って、昔ながらの竹馬を
手づくりします。乗り方のコツも教わります。

日時 5月10日(日) 10:00~14:30

場所 筍の里広場

対象 小学生以上 (10歳未満は保護者同伴)

費用 500円(竹林保全費用)

持ち物 軍手、長そで・長ズボン着用
昼食は各自用意

主催 竹林再生プロジェクト

申込み 南関町SDGs推進課(電話52-1112)

【Y 52-1112】柳瀬佐代子

柳瀬佐代子

竹馬をつかって遊ぼう

孟宗竹を使って、昔ながらの竹馬を手づくり
します。乗り方のコツも教わります。

日時 5月10日(日)
10:00~14:30

場所 筍の里広場

対象 小学生以上
(10歳未満は保護者同伴)

費用 500円(竹林保全費用)

持ち物 軍手、長そで・長ズボン着用
昼食は各自用意

主催 竹林再生プロジェクト

申込み 南関町SDGs推進課
(電話 52-1112)

【書 52-1112】細川 美帆

細川 美帆

竹馬をつかって遊ぼう

孟宗竹を使って、昔ながらの竹馬を手づくり
します。乗り方のコツも教わります。

日時 5月10日(日) 10:00~14:30

場所 筍の里広場

対象 小学生以上 (10歳未満は保護者同伴)

費用 500円(竹林保全費用)

持ち物 軍手、長そで・長ズボン着用
昼食は各自用意

主催 竹林再生プロジェクト

申込み 南関町SDGs推進課
(電話 52-1112)

【神 52-1112】金田 育子

金田 育子

日時 5月9日(土) 午前10時~11時

場所 かわせみ自然センター

講師 羽黒孝氏(日本野鳥の会千葉支部)

参加費 無料

持ち物 双眼鏡、野鳥図鑑

申込み 市川市自然保護課(三六〇一三五)

里山でバードウォッチング
シジュウカラや雀など身近な鳥の鳴き声や
巣立ちの様子を観察します

【京 36-0135】堀越 淑子

堀越 淑子

竹馬をつかって遊ぼう

孟宗竹を使って、昔ながらの竹馬を手づくり
します。乗り方のコツも教わります。

日時 5月10日(日) 10:00~14:30

場所 筍の里広場

対象 小学生以上
(10歳未満は保護者同伴)

費用 500円(竹林保全費用)

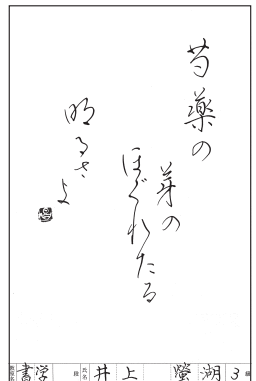
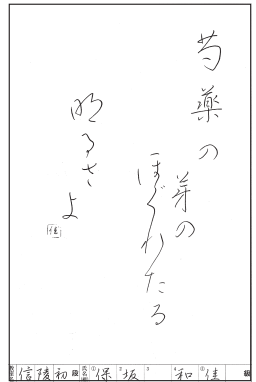
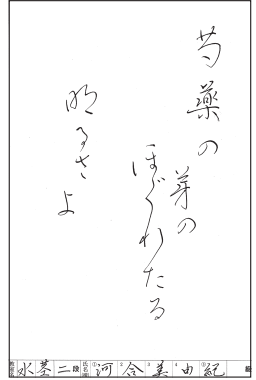
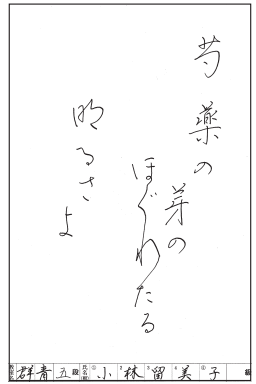
持ち物 軍手、長そで・長ズボン着用
昼食は各自用意

主催 竹林再生プロジェクト

申込み 南関町SDGs推進課
(電話 52-1112)

【加 52-1112】井上 梨沙

井上 梨沙



今月の優秀作品

根津十和子様
 港區南青山六・一
 調布市若葉町六九三
 渡 果歩
 182-0064

戦後書壇の一つの傾向として、書法の否定と伝統の破壊が目立つ。特に新しい書芸術を標榜する人々は、従来の書法を無視し、伝統を捨てて、自己の創意と新奇を出すことに走って、書の倫理性や文字性までも離脱しようとしているようである。

根津十和子様
 港區南青山六・一
 調布市若葉町六九三
 渡 果歩
 182-0064

戦後書壇の一つの傾向として、書法の否定と伝統の破壊が目立つ。特に新しい書芸術を標榜する人々は、従来の書法を無視し、伝統を捨てて、自己の創意と新奇を出すことに走って、書の倫理性や文字性までも離脱しようとしているようである。

根津十和子様
 港區南青山六・一
 調布市若葉町六九三
 渡 果歩
 182-0064

戦後書壇の一つの傾向として、書法の否定と伝統の破壊が目立つ。特に新しい書芸術を標榜する人々は、従来の書法を無視し、伝統を捨てて、自己の創意と新奇を出すことに走って、書の倫理性や文字性までも離脱しようとしているようである。

根津十和子様
 港區南青山六・一
 調布市若葉町六九三
 渡 果歩
 182-0064

戦後書壇の一つの傾向として、書法の否定と伝統の破壊が目立つ。特に新しい書芸術を標榜する人々は、従来の書法を無視し、伝統を捨てて、自己の創意と新奇を出すことに走って、書の倫理性や文字性までも離脱しようとしているようである。

根津十和子様
 港區南青山六・一
 調布市若葉町六九三
 渡 果歩
 182-0064

戦後書壇の一つの傾向として、書法の否定と伝統の破壊が目立つ。特に新しい書芸術を標榜する人々は、従来の書法を無視し、伝統を捨てて、自己の創意と新奇を出すことに走って、書の倫理性や文字性までも離脱しようとしているようである。

根津十和子様
 港區南青山六・一
 調布市若葉町六九三
 渡 果歩
 182-0064

戦後書壇の一つの傾向として、書法の否定と伝統の破壊が目立つ。特に新しい書芸術を標榜する人々は、従来の書法を無視し、伝統を捨てて、自己の創意と新奇を出すことに走って、書の倫理性や文字性までも離脱しようとしているようである。

里山でバードウォッチング
 シジウカラや雀など身近な鳥の鳴き声や巣立ちの様子を観察します
 日時 五月九日(土) 午前十時〜十二時
 場所 かわせみ自然センター
 講師 羽黒孝氏(日本野鳥の会千葉支部)
 参加費 無料
 持物 双眼鏡、野鳥図鑑
 申込先 市川市自然保護課(三六六〇一三五)

三村 莉杏

里山でバードウォッチング
 シジウカラや雀など身近な鳥の鳴き声や巣立ちの様子を観察します
 日時 五月九日(土) 午前十時〜十二時
 場所 かわせみ自然センター
 講師 羽黒孝氏(日本野鳥の会千葉支部)
 参加費 無料
 持物 双眼鏡、野鳥図鑑
 申込先 市川市自然保護課(三六六〇一三五)

伊藤 綾子

里山でバードウォッチング
 シジウカラや雀など身近な鳥の鳴き声や巣立ちの様子を観察します
 日時 五月九日(土) 午前十時〜十二時
 場所 かわせみ自然センター
 講師 羽黒孝氏(日本野鳥の会千葉支部)
 参加費 無料
 持物 双眼鏡、野鳥図鑑
 申込先 市川市自然保護課(三六六〇一三五)

鈴木 理枝